

### ■米国：ComEd 社、マイクログリッドによる緊急時電力供給の実証実験

イリノイ州シカゴに本社を置く電気事業者のコモンウェルス・エジソン社（ComEd 社）は 2019 年 4 月 17 日、シカゴのブロンズビル地区において、非常時にマイクログリッドを用いて電力供給する実証試験に成功したことを発表した。本マイクログリッドは、住宅、研究機関、図書館、警察署などの負荷設備に、太陽光発電や蓄電池などの分散型電源から電力供給を行うものである。今回の実験において、「単独運転シミュレーション（simulated islanding）」では悪天候下や、サイバーセキュリティ、テロ攻撃といった状況を模擬し、マイクログリッドのレジリエンシー（resiliency）を確認した。同社の代表であるドネリー氏は、「ブロンズビルマイクログリッドは、破壊的な攻撃に直面したコミュニティに対し、その価値を実証しただけではなく、再生可能エネルギーの導入を支援するものでもある」と述べた。最終的に計画されている 7,700kW システムは、シカゴの警察および消防署の本部を含む、ブロンズビル周辺の約 770 の顧客に電力を供給する。